

1 教職員研修について

- (1) 日 時 平成 25 年 8 月 19 日 (月) 13:00～16:30
- (2) 場 所 宇和島市立城南中学校 視聴覚室
- (3) 内 容 13:00～13:50 講演 1 「児童・生徒が抱えている問題事例」
講師 広島県教科用図書販売株式会社 桐野志摩美 先生
- 13:50～14:30 各業者によるプレゼンテーション
- 14:40～15:40 講演 2 「ICT とゆとり」
講師 岐阜聖徳学園大学 井上志朗 先生
- 15:40～16:30 情報交換

今回の研修会には、校長 2 名、教頭 1 名、情報教育主任 25 名の計 28 名が参加した。
前半は、情報モラルに関する講演が行われた。今回の講師、桐野志摩美先生は、情報社会の問題点として、以下の 6 つを挙げられた。

- ① 有害サイトの閲覧 ② 出会い系サイトへの誘導 ③ 個人情報の流出
④ 著作権の侵害 ⑤ ネット・ゲーム・チャット依存 ⑥ 書き込みによるトラブル

特に問題になってきているのが「掲示板への書き込みによるトラブル」である。桐野先生は、「児童・生徒に指導する際、『デジタルのものは消えない』という点をしっかりと伝えてほしい。」と述べられた。その他、大人にできることとして、「アプリの初期設定の変更」「ペアレンタルコントロール」などが挙げられた。教職員を含む大人が、情報社会の問題点を理解し、情報機器の操作方法に慣れておくことが大切であると感じた。

続いて後半は、岐阜聖徳学園大学で教鞭をとっておられる井上志朗先生に、ICT 機器の活用の基本的な考え方について、ご自身の体験を交えながら、分かりやすくお話しいただいた。

我々教職員はややもすると、ICT 機器を使うとよい授業ができたかのような錯覚に陥りがちである。「教科の本質を捉える」「学校経営・学級経営の基本はフェイス・トゥー・フェイスである」「常に児童・生徒に軸足をおく」など、我々が忘れてはならない指導の基本を熱く語っていただいた。



【井上志朗先生による講演の様子】

2 今後の課題

宇和島市では、今年度末から 3 年間をかけて、児童用コンピュータの入替えが予定されており、小学校ではタブレット型端末の導入も検討されている。

このように、徐々にハードウェアの整備が整ってきている反面、予算の都合により、ソフトウェアの整備が追い付かない状況にある。この状況を乗り切るために、今後、キープポイントとなるのが「情報の共有」である。その一例として、市庁舎に設置されているファイルサーバに、各学校の教職員が作成した教材を集め、自由に使用できるようになれば、教材作成の負担が減り、ICT 機器の活用も促進されるのではないかと思う。「ICT 機器」+「知恵と工夫」で、分かる授業の実現、授業の質の向上を目指したい。